

指導教員名	前川 明
-------	------

活動区分	企画提案	連携先	企業

～ 流通科学大学×はりまっち 企業連携プログラム 「現役学生による会社説明会用プレゼン資料作成体験会」～

活動の様子



企業の方への最終プレゼン①



企業の方への最終プレゼン②



企業の方への最終プレゼン③

企画・活動概要

就職情報サイト・はりまっち(株式会社ダイネンヒューマンplus)から学んだ採用マーケティングの手法を活かし、今回、協力していただいた3社の企業(株式会社横山建設工業、ヨドブレ株式会社、株式会社トヨタレンタリース兵庫)から会社説明に必要な情報をヒアリング。その後、それぞれの企業と連絡を取り合いながら、説明内容を修正し、会社説明会用のプレゼン資料を作成させ、2024年1月15日に対象企業の採用担当者に対して、プレゼンテーションを行い、フィードバックを受けました。



最終プレゼンの様子を見守る企業の方

経緯・背景・目的

就職情報サイト・はりまっち(株式会社ダイネンヒューマンplus)と協働するイベントに参加する両者の目的は以下の通りです。企業が伝えたいことと、学生が魅力に感じることに大きな差があります。そこで学生の視点でプレゼン資料を作成することで、企業へ新たな気付きを与え、自社の採用活動力の向上へつなげます。一方で前川ゼミ(研究演習Ⅰ 2年生ゼミ)の学生は、プレゼンテーションやコミュニケーション能力の向上に加え、企業の見る目を養うことができる点が目的となります。



最終プレゼンの様子を見守る企業の方

取り組む課題

就職情報サイト・はりまっち(株式会社ダイネンヒューマンplus)と共に協力していただいた3社の企業(株式会社横山建設工業、ヨドブレ株式会社、株式会社トヨタレンタリース兵庫)から会社説明に必要な情報をヒアリングした上で、前川ゼミ(研究演習Ⅰ 2年生ゼミ)の学生が、学生目線で合同企業説明会の内容を考え、提案することが今回のイベントの主題でありました。企業に対して提案をする以上、学生からの説明もよりわかりやすくする必要があったため、説明内容を考える点と、その内容を相手にわかりやすくプレゼンテーションを行う点の2点が課題でした。



企業の方からヒアリング①

本学(学生)の役割

学生目線で合同企業説明会の説明をよりよくするための提案を行うことが前川ゼミ(研究演習Ⅰ 2年生ゼミ)の学生の役割でしたが、その中でも、こちらの感じたことを、ただ説明するだけではなく、説明を聞いた企業の採用担当者の方が、こちらの提案を取り入れて、今後の自社の説明会の内容を改善しようと考えてもらえるような内容を提案することが、学生の大きな役割だったと考えています。



企業の方からヒアリング②

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

活動結果: 今回のプレゼンテーション終了後、参加企業の採用担当者からは「自分たちにはない視点やアイデア、プレゼンの手法に、驚きました。今後の説明会にそのまま取り入れたい部分があったので、それは参考にしたい。」などの意見をいただきました。

学生が成長した点・学生が身につけた能力: 緊張する場面(企業の人事担当者の前)で伝えたいことをプレゼンテーションする経験を通して、プレゼンテーションの準備(周りの人の意見を取り入れながら、何度も修正すること)の必要性や相手(参加企業)の視点を考えることが出来た点が成長した点だと感じました。



グループワーク風景

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
人間健康学科
准教授
前川 明(マエカワ アキラ)
＜専門・担当科目等＞
キャリア教育、キャリアデザイン、就職支援

<関係者・企業等>

株式会社ダイネンヒューマンplus
桜井 透(サクライ トウル)